

平成 29 年 3 月 9 日

第 18 回岐阜大学技術報告会 参加報告書

ものづくり系班 佐々木俊亮

第 18 回岐阜大学技術報告会に参加・発表をしたので報告します。

1. 目的

本技術報告会は岐阜大学の技術職員の技術力向上や活動の公開を主たる目的として日ごろ携わっている業務の中で得られた成果や創意工夫を発表し討論する場として開催され、他分野にわたる知識の向上と技術交流を図るために学外からの発表者を募集していたため、参加することとした。

2. 開催日時

平成 29 年 3 月 7 日

3. プログラム

技術報告Ⅰ 生物系 3 件

技術報告Ⅱ 物理系 1 件、情報系 1 件、建築系 1 件

特別講演 「人の活動と野生動物 知る人が少ない“我々の”領域」

岐阜大学 応用生物科学部 附属野生動物管理学研究センター特任助教 森元萌弥

技術報告Ⅲ 機械系 2 件、建築系 1 件

招待講演 「岐阜県家畜保健衛生所の紹介」

岐阜県中興家畜保健衛生所 田中英次

「岐阜県と岐阜大学との家畜衛生連携について」

岐阜県畜産課 寺師恭代

4. 発表概要

題目：公開講座「はじめての工作測定」実施報告

7 月に実施した公開講座に関して準備に関して、講座の様子とアンケート結果などをまとめた報告を行った。持ち時間は発表 15 分・質疑 5 分の計 20 分であった。

5. 所感

第一に、今回参加した報告会は“岐阜大学の”報告会であり外部からの、まして高専からの発表は稀なようで肩身が狭いと感じられたことが記憶の大部分を占める。

発表テーマとしては応用生物科学部が幹事ということで生物・科学系の内容が多かったが、今年はじめに大々的にニュースにもなった鳥インフルエンザに関する話など門外漢ではあるが興味深い話が多かった。

自身の発表についてはおおよそ時間通りにスライドを終了させ、発表後に質問もでたのでそれなりに参加した意義はあったのではないかといえる。